

## 特別支援（視覚障害・聴覚障害）研修講座実施計画書

- 1 目的** 視覚障害・聴覚障害教育における専門的指導力の向上を図り視覚障害・聴覚障害教育の基盤を整備するとともに、盲学校・聾学校教諭普通免許状取得者を計画的に養成することにより特殊教育の充実に資する。[本研修講座は免許法認定講習として開設し、20日間の研修によって盲学校・聾学校教諭普通免許状取得に必要な6単位を修得できるものである。]
- 2 期間** 平成16年5月18日(火)から平成17年2月15日(火)までの20日間  
(夏季休業中、集中的に実施。授業期間中は原則として視覚コース木曜日、聴覚コース金曜日に設定。時間はいずれも9時30分から16時30分まで。)
- 3 対象** 小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校及び養護学校の教諭のうち、教職経験2年を経過した者
- 4 定員** 視覚障害コース 10名  
聴覚障害コース 10名
- 5 研修方法** 講義、演習、協議を中心に研修を行う。
- 6 研修期日** 以下に示すとおり

### <視覚障害コース>

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
研	-	3	1	6(金)	-	7	-	-	-	-
修	-	10	-	19	-	-	11	-	-	-
日	18(火)	17	21(水)	20(金)	16	-	18	-	-	15(火)
	-	-	26(月)	23(月)	-	-	-	27(月)	-	-
			27(火)	24(火)	30	-	-		-	-

### <聴覚障害コース>

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
研	-	4	-	3(火)	-	-	-	-	-	-
修	-	11	-	5(木)	10	-	12	-	-	-
日	18(火)	-	21(水)	6	-	-	19	-	-	15(火)
	-	25	29(木)	17(火)	24	22	-	27(月)	-	-
			30	23(月)					-	-
				24(火)						

7 研修内容 以下に示すとおり

< 視覚障害コース >

研 修 項 目 名	主 な 内 容
視覚障害児教育基礎論	特殊教育の現状と課題、視覚障害教育概論、視覚障害教育の歴史及び思想
視覚障害児教育基礎論	視覚障害教育制度、障害者福祉、教育相談・地域ネットワーク
視覚生理・病理	視覚生理・病理、ロービジョンケア、視機能評価法
視覚障害児心理	視覚障害心理、視覚障害児の発達と学習、視覚障害児の実態把握
視覚障害児指導法	教育課程、自立活動と個別の指導計画、重複障害児の指導、進路指導、点字学習指導、触覚活用指導
視覚障害児指導法	歩行指導、日常生活指導、視覚活用指導、視覚補助具の指導、教科等の特別な指導法
主 な 講 師	
福岡教育大学 教育学部	教授 志村 洋
福岡大学 医学部	教授 林 英之
柳川リハビリテーション病院	眼科部長 高橋 広
鹿児島大学 教育学部	教授 内田 芳夫
福岡教育大学 教育学部	助教授 中村 貴志
広島大学 大学院 教育学研究科	助教授 小林 秀之
福岡市立心身障害福祉センター	歩行訓練士 豊田 信之

< 聴覚障害コース >

研 修 項 目 名	主 な 内 容
聴覚障害児教育基礎論	特殊教育の現状と課題、聴覚障害教育概論、聴覚障害教育の歴史及び思想
聴覚障害児教育基礎論	聴覚障害教育制度、障害者福祉、教育相談・地域ネットワーク
聴覚生理・病理	聴覚生理・病理、聴覚検査法
聴覚障害児心理	聴覚障害心理、聴覚障害児の発達と学習、聴覚障害児の実態把握
聴覚障害児指導法	教育課程、自立活動と個別の指導計画、聴覚の活用、言語指導、発音発語指導、重複障害児の指導
聴覚障害児指導法	コミュニケーション方法、教科指導、障害認識
主 な 講 師	
国立特殊教育総合研究所	聴覚言語障害研究部長 穴戸 和成
福岡教育大学 教育学部	教授 太田 富雄
愛媛大学 教育学部	教授 高橋 信雄
熊本大学 教育学部	助教授 古田 弘子
福岡大学 医学部	助教授 原田 博文
九州芸術工科大学 音響設計学科	助教授 白石 君男
福岡大学 医学部	講師 坂田 俊文